

# ネットタッチのルール変更によるプレーの変化に関する研究

小寺秀哉 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導教員 新井 博

キーワード：バレーボール, ルール, ネットタッチ

## 1. 諸言

バレーボールは、マスメディアを意識したルール変更が近年増えている。スムーズな試合進行やメディアむけのスポーツにするために、多くのルールが変更されてきた。ルールが変わると、プレーヤーは新しいルールに対応しなければいけない。

私の場合、様々なルール変更のなかで、プレーに影響を与えるルール変更は、ネットタッチであった。当初ネットタッチは、ネットのいかなる場所にも触れてはいけない。ところが、平成21年ネット上の白帯以外は許されることになった。しかし、再び平成26年にネットのいかなる場所にも触れてはいけない、変更された。このルール変更により、ネットタッチによる失点が多くなったと感じた。

つまり、こういったルール変更は、一度慣れたアタックやブロック動作に大きな影響を与えていると感じ、本研究に至った。

## 2. 研究方法

本研究の対象者は、ルール変更以前にあたる小学校や中学校時代からバレーボールを行っている、B大学バレーボール部に所属する男女20名の部員にアンケート調査を実施した。

## 3. 結果と考察

今回の研究で、私はルール変更によって選手がルール変更の必要性や変更による有利・不利、気をつけていること、また怪我が減少したのかどうかについて興味を持ち、調査を行った。アンケート結果によると、ルール変更が必要だったと答える人が少ないことがわかった。しかし

ネットタッチの限度も分からなくなってきたので、ルール変更されて公平にプレーができるようになったと思えた。プレーヤーはルールが変更されたことによって、どのポジションであっても攻撃やブロックにおいて不利だと感じる。今まで気にせずプレーすることができていたが、ネットタッチを気にするあまり、ダイナミックにできなくなった。

ネットタッチになりやすいため、ブロックの飛ぶ位置をネットから離れたところで飛び、ネット際に立つことのないリベロでもパスはネットに近づき過ぎないように気を付けていることがわかった。接触プレーや怪我やパッシングが減ったと答える選手より変わらないと答える選手のほうが多く見られた。ルール変更によって怪我やパッシングが減ったとはいえないことがわかった。

## 4. まとめ

今回、この研究を行って分かったことは、ルールが変わり、ネットタッチなどのミスが出て流れが変わりやすくなった。そこで、今後、ネットタッチを意識したプレーしなければいけないのである。

## 5. 引用・参考文献

- ・尾沢とし和 (2005) イラスト版基本がわかるスポーツルールバレーボール, (株)汐文社.
- ・審判規則委員会 (2015) 2015年度 RULEBOOK VOLLEYBALL バレーボール6人制規則, 公益財団法人日本バレーボール協会.